

2024年10月吉日

日本管理会計学会会員各位

日本管理会計学会
2024年度第2回関西・中部部会
ご案内

会員の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

下記の要領にて、日本管理会計学会 2024年度第2回関西・中部部会を、和歌山大学(準備委員長:藤原靖也)を開催校として、ハイブリッド方式(対面+オンライン)にて開催いたします。

部会参加費は無料、懇親会費は4,000円です。万障お繰り合わせのうえ、ご参加賜りますようご案内申し上げます。

参加をご希望の方は、準備の都合上、**11月17日(日)までに**、下記のリンク先 Google フォームからお申込みください。オンライン参加の皆さまには、別途、Zoom ID を送信させていただきます。

(参加申込フォーム)

<https://forms.gle/XRFQypQKvpLHCzSt7>

1. 日時: 2024年11月23日(土) 13時30分~16時40分
2. 開催場所: 和歌山大学栄谷キャンパス(和歌山県和歌山市栄谷930番地)
3. 報告会場: 西2号館 1階 E101 講義室
(南海本線 和歌山大学前駅より、徒歩20分またはバスにて4分)
*会員控室: 和歌山大学栄谷キャンパス 西2号館 1階 E105 講義室
4. プログラム: 次ページ以降をご覧ください。
5. お問い合わせ先: 和歌山大学経済学部 藤原靖也
E-mail: nobuyaf@wakayama-u.ac.jp

※交通アクセスおよびキャンパスマップについての詳細は以下をご覧ください。キャンパスマップ上の緑色「w2」が西2号館(開催場所)です。

(交通アクセス) <https://www.wakayama-u.ac.jp/about/access.html>

(キャンパスマップ) <https://www.wakayama-u.ac.jp/about/c-map.html>

日本管理会計学会
2024年度第2回関西・中部部会
プログラム

1. 日時：2024年11月23日（土）13時30分～16時40分
2. 開催場所：和歌山大学栄谷キャンパス西2号館 E101教室
（会員控室：西2号館 E105教室）
3. 開催方法：ハイブリッド方式（対面+オンライン）
4. スケジュール：

部会進行の説明 13：30～13：35

開催の辞 13：35～13：40

関西・中部部会長 徳崎 進 氏（関西学院大学大学院経営戦略研究科 教授）

第1部〔特別講演〕 13：45～15：00（講演60分、質疑応答15分）

司会 藤原靖也（和歌山大学経済学部 准教授）

講演者 安本卓史 氏（ヴィッセル神戸 元常務取締役・INAC神戸レオネッサ 取締役チーム統括本部長・日本女子プロサッカーWEリーグ 初代理事）

講演テーマ 前例がないことをやってみる

第2部〔研究報告〕 15：10～16：30

司会 井上秀一 氏（追手門学院大学経営学部 准教授）

第1報告 15：10～15：45（報告25分、質疑応答10分）

報告者 下田卓治 氏（旭川市立大学経済学部 准教授）

論題 えるぼし認定と企業特性および企業価値の関係

第2報告 15：55～16：30（報告25分、質疑応答10分）

報告者 中島宏記 氏（京都大学経営管理大学院 大学院生）

論題 ガバナンスの変更を前提とした企業再生下で適用されるMCSを検討する上で有効なフレームワーク

閉会の辞 16：35～16：40

準備委員長 藤原靖也（和歌山大学経済学部 准教授）

懇親会 17：00～18：30

Café Restaurant（和歌山大学栄谷キャンパス生協内）

5. 会費：部会参加費 無料、懇親会費 4,000円（釣銭がでないようにお願い致します。）

* 関西・中部部会役員会

開催日時 2024年11月23日（土）12：30～13：15

開催場所 和歌山大学栄谷キャンパス西2号館 E101教室

日本管理会計学会
2024 年度第 2 回関西・中部部会
特別講演・研究報告要旨

特別講演 安本卓史 氏（ヴィッセル神戸 元常務取締役・INAC 神戸レオネッサ 取締役
チーム統括本部長・日本女子プロサッカーWEリーグ 初代理事）

講演テーマ 前例がないことをやってみる

講演要旨

ヴィッセル神戸、INAC 神戸で男女サッカークラブの経営に携わって来ました。しかし、社長とは名ばかりで営業、チーム編成、広報・PR など先頭に立ってチームの知名度アップに奔走する日々。そして、スタジアム DJ も務めるなど多岐に渡り活動するモットーは「前例がないことをやってみる」でした。一見華やかなスポーツビジネスの現実をお話させていただきます。

第 1 報告 下田卓治 氏（旭川市立大学経済学部 准教授）

論題 えるぼし認定と企業特性および企業価値の関係

報告要旨

本研究の目的は、女性活躍促進を評価する“えるぼし認定”を取得する企業にはどのような特性があるかを明らかにするとともに、“えるぼし認定”が企業価値に与える影響を確認することである。前者に関しては、企業規模が大きく、独立社外取締役の比率が高い企業が“えるぼし認定”を取得する傾向にあることが確認でき、後者に関しては、“えるぼし認定”は企業価値に正の影響を与えるが、その効果は一過性であることが確認できた。

第 2 報告 中島宏記 氏（京都大学経営管理大学院 大学院生）

論題 ガバナンスの変更を前提とした企業再生下で適用される MCS を検討する上で有効なフレームワーク

報告要旨

企業再生においてはガバナンスの変更を前提としてマネジメントコントロールシステム（MCS）が導入される場合が多い。そこで、Anthony、Simons、Malmi & Brown、Merchant & Van der Stede 等の示す MCS のフレームワークを、企業再生における MCS 活用に照らして検討することで、企業再生下で適用する MCS のフレームワークとして有効なものを明らかにする。